

ろくろせやまこふんぐん

## 6. 六呂瀬山古墳群

所在地：坂井市丸岡町上久米田

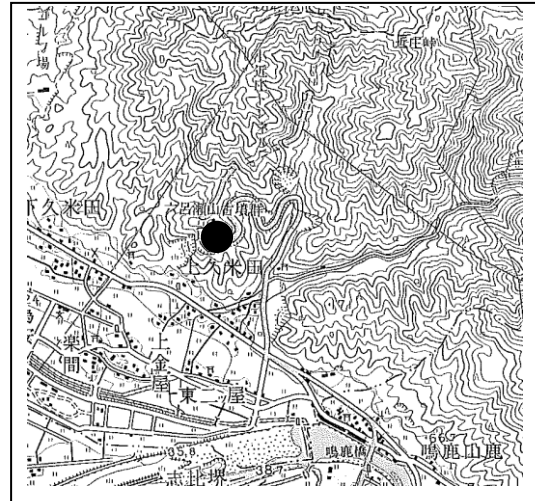
調査原因：仮設アクセス道路整備工事に伴う  
範囲確認

調査期間：平成 31 年 2 月 26 日～3 月 12 日

調査主体：坂井市教育委員会

調査面積：約 40 m<sup>2</sup>

時代：古墳



位置図 (S=1/50,000)

**調査の概要** 六呂瀬山古墳群は、平成 2 年に国史跡の指定を受け、北陸最大級とされる全長約 140m の 1 号墳（前方後円墳）を含む 4 基の前期古墳で構成される古墳群です。

市では、平成 29・30 年度の 2 か年をかけて、国道 384 号線沿いの駐車場から六呂瀬山古墳群までの仮設アクセス道路を整備しました。今回の調査対象地は、その整備にあたり、六呂瀬山 1 号墳の範囲が指定範囲外まで広がっていないかを確認する目的として行いました。

**遺構** 調査対象となった六呂瀬山 1 号墳は、標高約 200m の山頂に立地しており、自然の尾根をうまく利用して築造されています。アクセス道路が近くまで整備される六呂瀬山 1 号墳後円部の平坦部から尾根上に、幅 2m、長さ 20m のトレンチを 1 本設定して調査を実施しました。また、地山を確認するため、トレンチの西側に幅 50 cm のサブトレンチを入れて、さらに掘り下げを行いました。

遺構は、指定範囲内の平坦部において、表土から約 10 cm 下で葺石が確認できましたが、指定範囲外では確認できませんでした。また、地山は、指定範囲内では表土から約 10cm 下で、範囲外では表土から約 5cm 下で確認できました。

なお、古墳の平坦部によく見られる埴輪列は、今回の調査では確認できませんでした。

**遺物** トレンチ南側では、葺石の直上で円筒埴輪の破片と笏谷石製の石棺片が出土しました。トレンチ中央部では、円筒埴輪の破片、砥石と思われる石製品が出土しました。

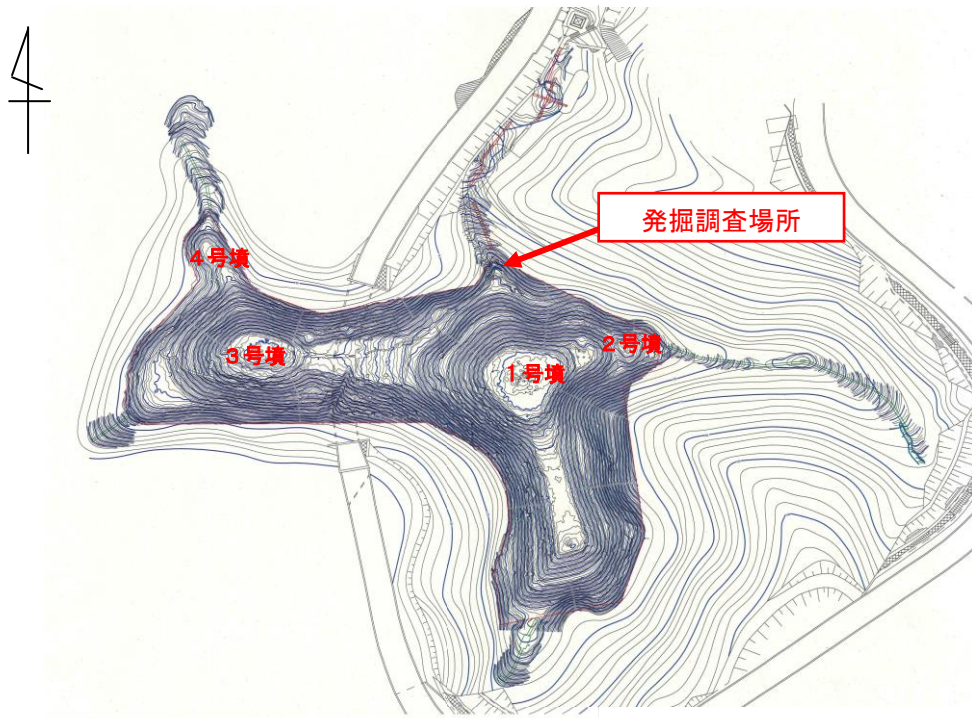
砥石と思われる石製品以外は、六呂瀬山 1 号墳のものと思われませんが、出土状況から転落してきたもの等と思われれます。

なお、砥石と思われる石製品は、この古墳が後世に山城として使用されていた時代のものと思われれます。

**まとめ** 今回の調査では、史跡の範囲外において葺石が確認できなかったことから、葺石が配置されるトレンチ南側から約 5m までの範囲で、古墳の埴裾は指定範囲内の平坦部までにとどまるものと思われれます。また、史跡範囲内の平坦部では、表土から約 10 cm 下で葺石を確認できましたが、埴輪列は確認できませんでした。

これにより、六呂瀬山 1 号墳では、埴輪列が確認された六呂瀬山 3 号墳とは異なり、平坦

部では埴輪列が巡らない可能性があります。また、葺石は自然石を下に据えており、葺石の配置状況から、今回の調査トレンチの西側に葺石が続き、六呂瀬山1号墳の主軸は西側にあるものと考えられます。  
(中田那々子)



葺石の状況 (範囲内 南側より撮影)



完掘の状況 (範囲外 北側より撮影)